

資料提供	
令和7年10月1日	
担当課 (担当者)	感染症対策センター (衛生環境研究所) (福田、最首)
電話	0858-35-5415

鳥取県感染症流行情報

第39週 [令和7年9月22日(月)～9月28日(日)]

1 主な定点報告対象感染症（五類感染症）の流行状況

疾病名	東部	中部	西部
インフルエンザ	×	×	×
新型コロナウイルス感染症	△	○	○
感染性胃腸炎	◎	○	△
水痘(水ぼうそう)	×	○	△
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	×	×	×
手足口病	×	×	×
ヘルパンギーナ(夏かぜ)	△	×	△
咽頭結膜熱	△	△	×
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	△	△	○
流行性角結膜炎	○	△	×
マイコプラズマ肺炎	○	◎	×
伝染性紅斑	○	△	○
RSウイルス感染症	△	△	○

★★ 警報又は警戒レベル
○ やや流行している

★ 注意報又は注意レベル
△ 散発

◎ 流行している
× 患者発生極少又はなし

< 定点当たりの患者数 >

(人)

疾病名	東部	中部	西部	全県	全国(第38週)
インフルエンザ	0.00	0.17	0.00	0.03	0.80
新型コロナウイルス感染症	3.92	8.67	5.18	5.38	6.93

急性呼吸器感染症(ARI)	52.08	74.17	48.27	55.21	53.05
---------------	-------	-------	-------	-------	-------

※インフルエンザ注意報・警報 注意報： 定点当たり10 人/週 警 報： 定点当たり 30 人/週	※新型コロナウイルス感染症注意レベル・警戒レベル 注意レベル： 定点当たり10 人/週 警戒レベル： 定点当たり 20 人/週
---	---

< 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスとは >

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

なお、急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに別の定点把握対象感染症で診断された場合、両方に報告されます。

2 全数報告対象感染症の発生状況

類別	疾患名	第 39 週				前週 全県	今年 累計	昨年 累計
		東部	中部	西部	全県			
二類	結核	1	0	0	1	2	41	50
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	2	3	8	27	21
四類	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	1	0	0	1	0	3	2
	レジオネラ症	0	1	0	1	1	15	9
五類	梅毒	1	0	1	2	3	28	41
	百日咳	4	1	0	5	5	652	383

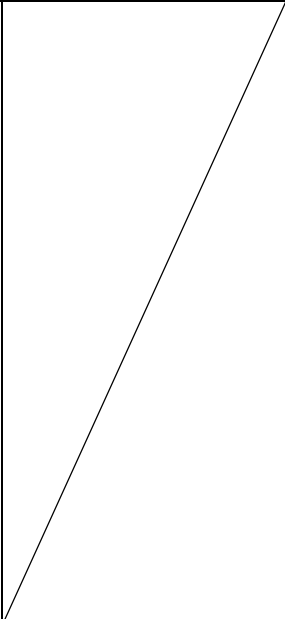
【コメント（定点）】

- 1 新型コロナウイルス感染症は、中部地区で依然として患者数が多い状況にあり、引き続き注意が必要です。
- 2 マイコプラズマ肺炎は、中部地区で患者報告数が増加し流行しています。
- 3 感染性胃腸炎は、東部地区で患者報告数が増加し流行しています。
- 4 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20 件を目途に報告数が多い疾病（急性呼吸器感染症（ARI）を除く））；
 - ・新型コロナウイルス感染症（156 件）
 - ・感染性胃腸炎（101 件）
 - ・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（44 件）
 - ・マイコプラズマ肺炎（12 件）

【コメント（全数）】

- 1 腸管出血性大腸菌感染症は、島根県で発生した食中毒やそれ以外にも患者報告があり、注意が必要です。
- 2 鳥取県内では、10 歳前後を中心に百日咳患者が引き続き多い状況です。全国的にも年間の累計患者数が過去最多となっており、注意が必要です。
- 3 梅毒は今年累計 6 件と多い状況であり、注意が必要です。

病 名	特 徴	予防のポイント	
		個別事項	共通事項
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を主症状とする新型コロナウイルスの感染によって起こる感染症です。 頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合もあります。 ご高齢の方、基礎疾患を持つ方は重症化するリスクがあります。	・手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用などに心がけ、特に高齢者と接する場合などは、体調を整えるようにしましょう。 ・重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。 ・感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、指示に従って受診しましょう。	・特に流行時には手洗いをしっかりとしましょう。 ・症状があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
マイコプラズマ肺炎	「肺炎マイコプラズマ」によって起こる呼吸器感染症です。発熱や全身のだるさ、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は少し遅れて始まることもあり、熱が下がった後も3～4週間続くのが特徴です。	・タオルなどは個人用としましょう。 ・マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。	

感染性胃腸炎	嘔吐、腹痛、下痢を主症状とする細菌やウイルス（ノロウイルス、ロタウイルス等）によって起こる感染力が非常に強い感染症です。	・感染した人の便や吐物を処理する場合には、必ずゴム手袋やマスクを着用しましょう。 ・便や吐物処理後の床、感染した人が触れた物などは、塩素系の消毒剤で消毒しましょう。	
腸管出血性大腸菌感染症	ベロ毒素を産生する大腸菌を病原体とする感染症で、腹痛、下痢、血便などを引き起こします。 特に乳幼児や高齢者は重症化しやすく、溶血性尿症症候群（HUS）や脳症といった重篤な合併症を伴い死亡することもあります。 感染は、菌に汚染された飲食物の摂取や、感染者の便を介した二次感染によって起こります。	・食品の加熱は十分に行いましょう。 ・調理をする際、食事の前には、十分に手洗いをしましょう。 ・下痢症状があった場合は、排便後の手洗いを十分に行うとともに、速やかに医療機関を受診しましょう。 ・焼き肉・バーベキューの際のトング等の使い方、生肉と焼けた肉等の共用は避けましょう。	
百日咳	百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作（痙咳発作（けいがいほっさ））を特徴とする急性の気道感染症です。 乳児（特に新生児や乳児期早期）では重症になり、肺炎、脳症を合併し、まれに死に至ることもあります。	・生後2か月から定期接種として接種可能な5種混合ワクチン（DPT-IPV - Hib）等の接種が有効です。ただし、接種後年数が経過した人等での発病も見られます。手洗いなどの感染症対策や、マスク着用するなどの咳エチケットを心がけましょう。 ワクチン未接種である新生児や早期乳児が感染すると重症化しやすいため、赤ちゃんや妊産婦のおられるご家庭では、周囲の家族などが感染源とならないよう特に注意してください。	
梅毒	梅毒トレポネーマによる細菌性の性感染症です。感染後の経過により様々な症状が現れるが、無症状のこともあります。 感染後数週間で、感染した場所に、できもの、しこりなどができるが痛みはなく、数週間で自然に症状は消えます。 この症状が消えた後に、1から3か月経つとバラ疹よばれる淡い赤い色の発疹が全身に出ることがあります。その他にも肝臓、腎臓など全身の臓器に様々な症状を呈することがあります。治療しないで感染後数年程度経過すると、更に重篤な症状が出ることもあります。	粘膜や皮膚が梅毒の病変と直接接触しないように、また病変の存在に気づかない場合もあることから、性交渉の際はコンドームを適切に使用しましょう。ただし、コンドームが覆わない部分から感染する可能性もあるため、コンドームで100%予防できると過信はしないようにしましょう。 もし皮膚や粘膜に異常を認めた場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診して相談しましょう。	

※咳エチケット：咳、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ飛沫を飛ばさないようにすること

鳥取県感染症発生動向調査情報（週報）

第39週 [令和7年9月22日(月)～28日(日)]

(地区別)

令和7年10月1日 作成 (件)

	東 部		中 部		西 部		合 計			県内1定点 当たり		全国1定 点当たり
	39週	前週比	39週	前週比	39週	前週比	39週	38週	前週比	39週	38週	38週
急性呼吸器感染症(ARI)定点数												
1 インフルエンザ	0	0%	1	—	0	0%	1	3	33%	0.03	0.10	0.80
2 新型コロナウイルス感染症	47	64%	52	102%	57	80%	156	196	80%	5.38	6.76	6.93
小児科定点数												
3 咽頭結膜熱	1	100%	1	—	0	—	2	1	200%	0.11	0.05	0.28
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	53%	4	133%	15	54%	44	78	56%	2.32	4.11	1.45
5 感染性胃腸炎	54	115%	31	100%	16	64%	101	103	98%	5.32	5.42	3.90
6 水痘	1	—	2	—	3	300%	6	1	600%	0.32	0.05	0.20
7 手足口病	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.46
8 伝染性紅斑	4	133%	2	22%	3	75%	9	16	56%	0.47	0.84	1.23
9 突発性発疹	0	—	2	—	0	0%	2	4	50%	0.11	0.21	0.29
10 ヘルパンギーナ	1	50%	0	—	1	100%	2	3	67%	0.11	0.16	0.70
11 流行性耳下腺炎	1	—	0	—	0	—	1	0	—	0.05	0.00	0.04
12 RSウイルス感染症	3	23%	2	50%	7	58%	12	29	41%	0.63	1.53	1.64
眼科定点数												
13 急性出血性結膜炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01
14 流行性角結膜炎	6	200%	1	—	1	—	8	3	267%	1.60	0.60	1.08
基幹定点数												
15 細菌性髄膜炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01
16 無菌性髄膜炎	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.05
17 マイコプラズマ肺炎	3	150%	9	129%	0	—	12	9	133%	2.40	1.80	1.11
18 クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01
19 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01

※中部の基幹定点は小児科定点と共通のため、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の件数は感染性胃腸炎の内数となります。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数												
20 急性呼吸器感染症(ARI)	625	103%	445	108%	531	87%	1,601	1,626	98%	55.21	56.07	53.05

※急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに上記の他疾病で診断された場合、両方に報告されています。

合 計		771	97%	552	107%	634	84%	1,957	2,072	94%
-----	--	-----	-----	-----	------	-----	-----	-------	-------	-----

週別患者報告数および定点当たり患者数

(令和7年第31週 ~ 令和7年第39週)

区 分		今週 39週	38週	37週	36週	35週	34週	33週	32週	31週	令和7年 累計
1	インフルエンザ 1定点当たり患者報告数(件)	1 0.03	3 0.10	3 0.10	5 0.17	2 0.07	1 0.03	9 0.31	11 0.38	3 0.10	3,866 3.42
2	新型コロナウイルス感染症 1定点当たり患者報告数(件)	156 5.38	196 6.76	226 7.79	244 8.41	251 8.66	232 8.00	185 6.38	117 4.03	96 3.31	4,479 3.96
3	咽頭結膜熱 1定点当たり患者報告数(件)	2 0.11	1 0.05	3 0.16	3 0.16	1 0.05	4 0.21	2 0.11	5 0.26	9 0.47	197 0.27
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1定点当たり患者報告数(件)	44 2.32	78 4.11	73 3.84	72 3.79	42 2.21	34 1.79	35 1.84	51 2.68	53 2.79	2,419 3.26
5	感染性胃腸炎 1定点当たり患者報告数(件)	101 5.32	103 5.42	166 8.74	106 5.58	105 5.53	84 4.42	68 3.58	109 5.74	95 5.00	4,337 5.85
6	水痘 1定点当たり患者報告数(件)	6 0.32	1 0.05	3 0.16	5 0.26	2 0.11	3 0.16	2 0.11	4 0.21	6 0.32	203 0.27
7	手足口病 1定点当たり患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.05	1 0.05	1 0.05	0 0.00	1 0.05	69 0.09
8	伝染性紅斑 1定点当たり患者報告数(件)	9 0.47	16 0.84	17 0.89	7 0.37	13 0.68	19 1.00	5 0.26	8 0.42	21 1.11	530 0.72
9	突発性発疹 1定点当たり患者報告数(件)	2 0.11	4 0.21	4 0.21	3 0.16	6 0.32	5 0.26	2 0.11	3 0.16	3 0.16	133 0.18
10	ヘルパンギーナ 1定点当たり患者報告数(件)	2 0.11	3 0.16	4 0.21	9 0.47	4 0.21	14 0.74	3 0.16	26 1.37	44 2.32	302 0.41
11	流行性耳下腺炎 1定点当たり患者報告数(件)	1 0.05	0 0.00	1 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.05	0 0.00	0 0.00	20 0.03
12	RSウイルス感染症 1定点当たり患者報告数(件)	12 0.63	29 1.53	38 2.00	30 1.58	9 0.47	8 0.42	4 0.21	5 0.26	9 0.47	380 0.51
13	急性出血性結膜炎 1定点当たり患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
14	流行性角結膜炎 1定点当たり患者報告数(件)	8 1.60	3 0.60	7 1.40	8 1.60	6 1.20	6 1.20	1 0.20	2 0.40	1 0.20	75 0.38
15	細菌性髄膜炎 1定点当たり患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.02
16	無菌性髄膜炎 1定点当たり患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.20	1 0.20	1 0.20	13 0.07
17	マイコプラズマ肺炎 1定点当たり患者報告数(件)	12 2.40	9 1.80	9 1.80	9 1.80	9 1.80	9 1.80	12 2.40	18 3.60	6 1.20	200 1.03
18	クラミジア肺炎(オウム病を除く) 1定点当たり患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) 1定点当たり患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	12 0.06
20	急性呼吸器感染症(ARI) 1定点当たり患者報告数(件)	1,601 55.21	1,626 56.07	1,791 61.76	1,781 61.41	1,574 54.28	1,389 47.90	1,000 34.48	1,525 52.59	1,320 45.52	38,581 53.22
合 計		1,957	2,072	2,345	2,282	2,025	1,809	1,331	1,885	1,668	55,821

※ 累計欄の定点当たり患者報告数は1定点1週当たり患者報告数。

※ 急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに上記の他疾病で診断された場合、両方に報告されています。

年齢別内訳

第39週 [令和7年9月22日(月)～28日(日)]

疾病名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上
咽頭結膜熱	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.11	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	0	0	3	2	4	5	5	4	5	3	3	8	1	1
定点当たり発生割合(件)	2.32	0.00	0.00	0.16	0.11	0.21	0.26	0.26	0.21	0.26	0.16	0.16	0.42	0.05	0.05
感染性胃腸炎	101	1	4	14	16	9	6	8	6	7	5	4	16	4	1
定点当たり発生割合(件)	5.32	0.05	0.21	0.74	0.84	0.47	0.32	0.42	0.32	0.37	0.26	0.21	0.84	0.21	0.05
水痘	6	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	1	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.11	0.05	0.05	0.05	0.00	0.00
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	9	0	0	0	1	0	1	3	2	1	0	0	1	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.47	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.05	0.16	0.11	0.05	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00
突発性発疹	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.11	0.00	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.11	0.00	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス感染症	12	1	1	5	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.63	0.05	0.05	0.26	0.11	0.11	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※小児科定点数は19定点

年齢別内訳

第39週 [令和7年9月22日(月)～28日(日)]

疾病名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
インフルエンザ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	156	1	3	7	4	2	3	3	5	1	4	8	19	11	13	6	20	9	4	14	19
定点当たり発生割合(件)	5.38	0.03	0.10	0.24	0.14	0.07	0.10	0.10	0.17	0.03	0.14	0.28	0.66	0.38	0.45	0.21	0.69	0.31	0.14	0.48	0.66

※急性呼吸器感染症(ARI)定点数は29定点

疾病名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	8	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0
定点当たり発生割合(件)	1.60	0.20	0.00	0.00	0.20	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.20	0.00

※眼科定点数は5定点

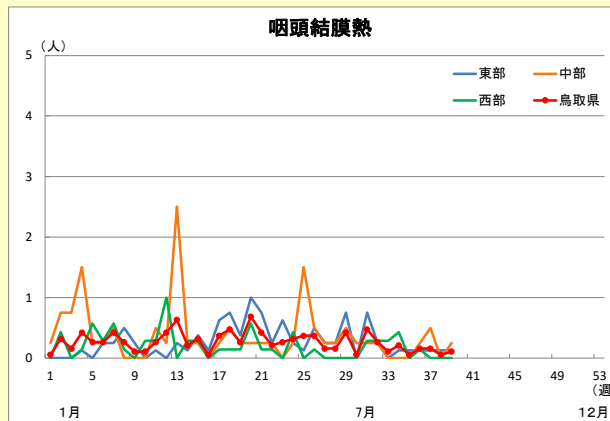
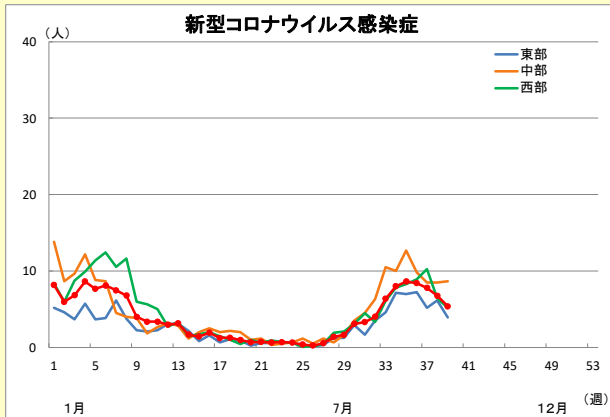
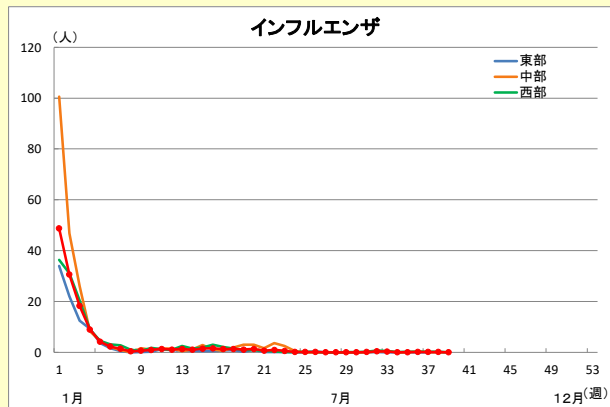
疾病名	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	12	0	1	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
定点当たり発生割合(件)	2.40	0.00	0.20	1.40	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※基幹定点数は5定点

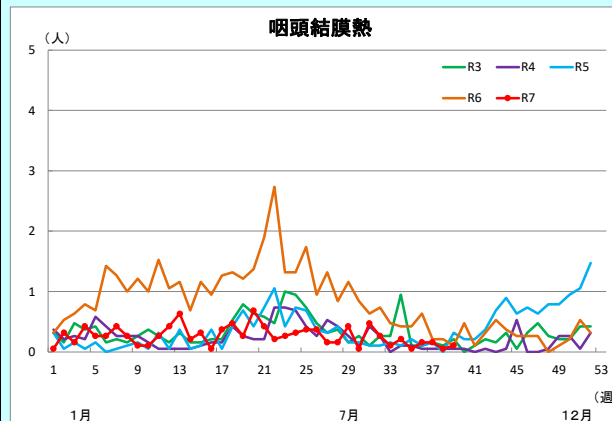
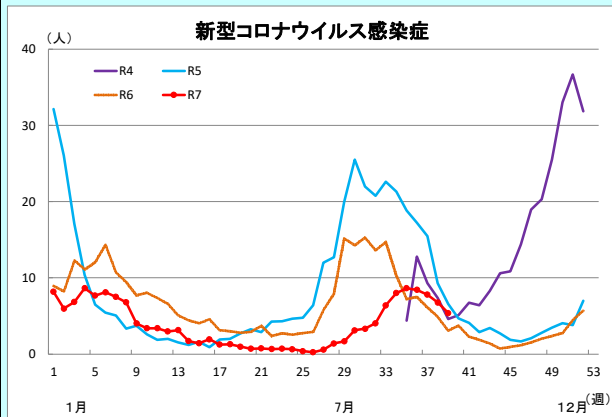
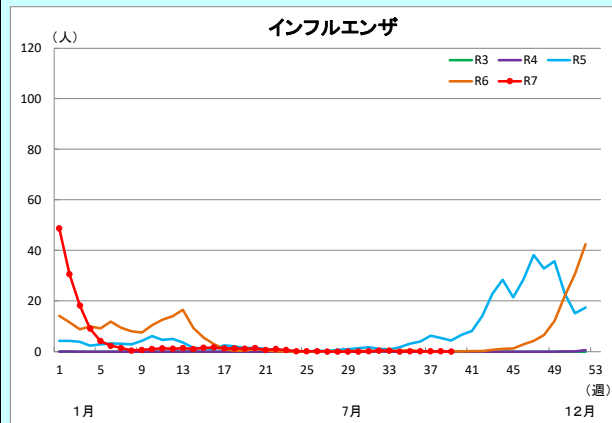
疾病名	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性呼吸器感染症(ARI)	1,601	85	665	371	157	39	44	37	54	26	25	55	43
定点当たり発生割合(件)	55.21	2.93	22.93	12.79	5.41	1.34	1.52	1.28	1.86	0.90	0.86	1.90	1.48

※急性呼吸器感染症(ARI)定点数は29定点

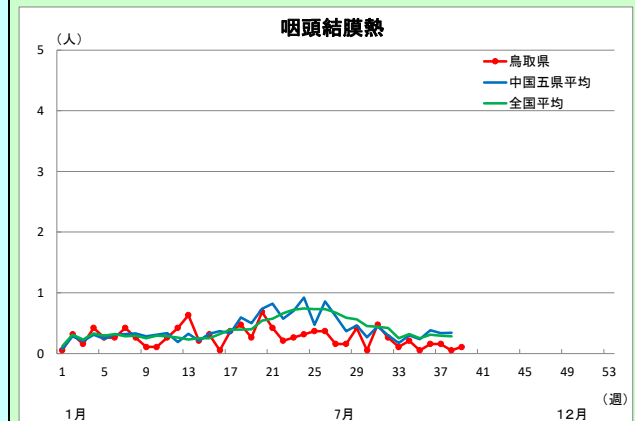
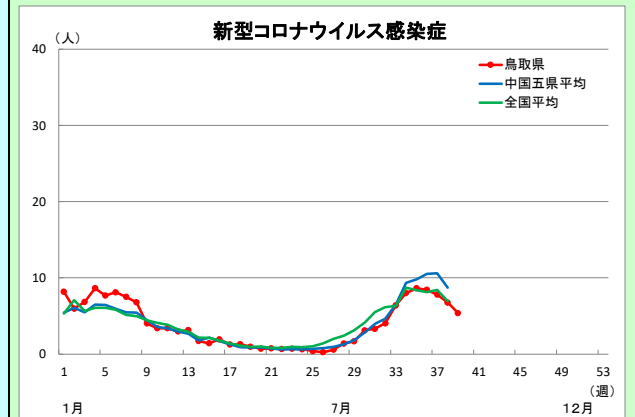
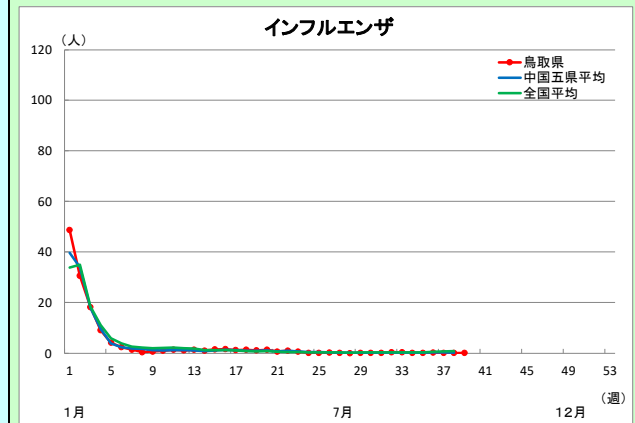
地区発生状況(定点当たり)



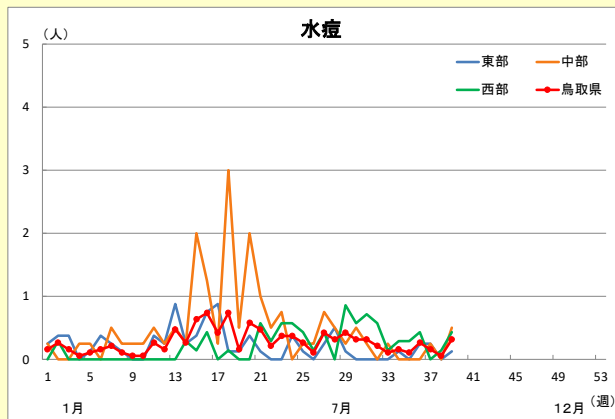
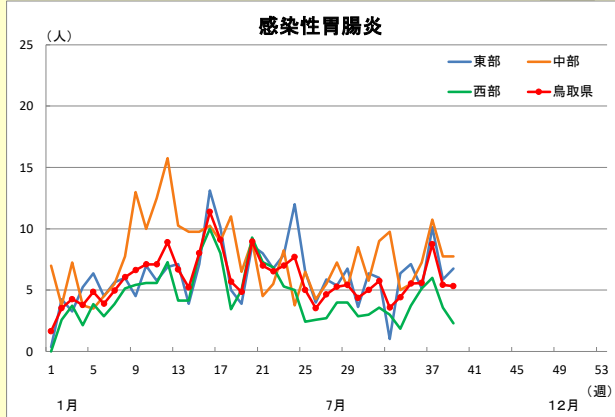
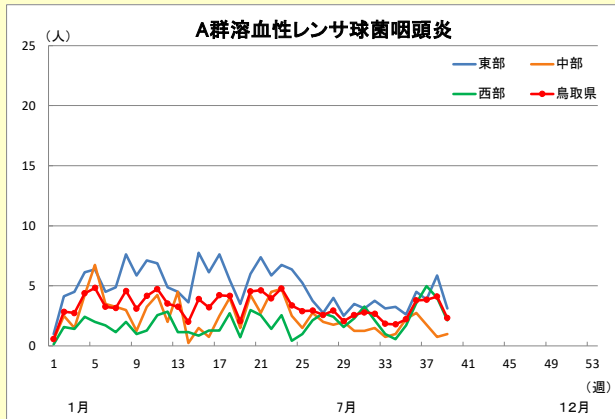
年次別発生状況(定点当たり)



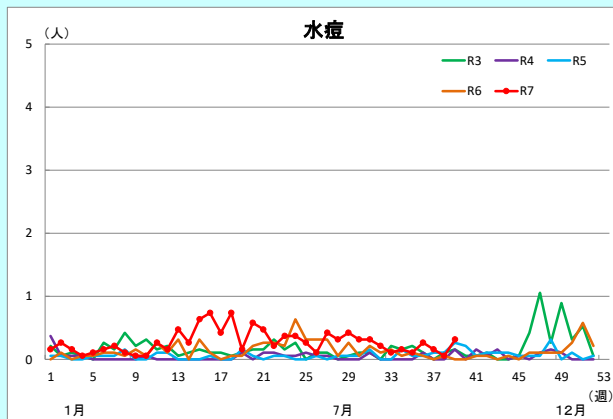
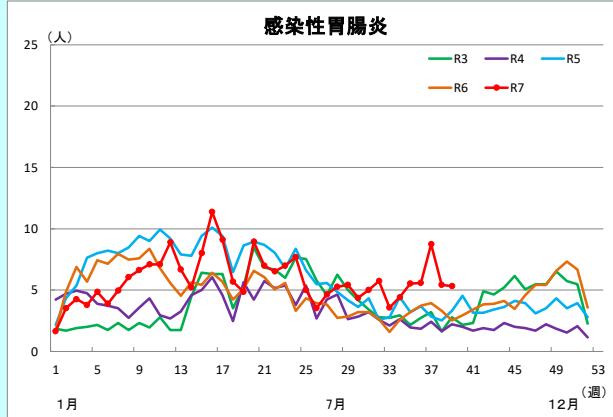
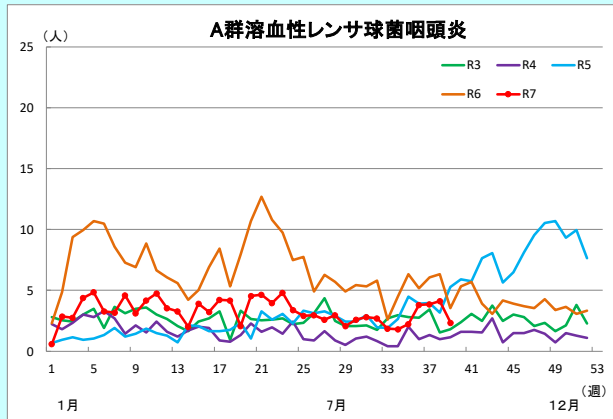
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



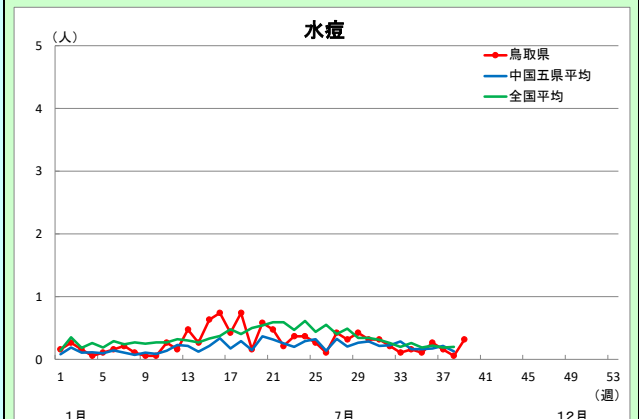
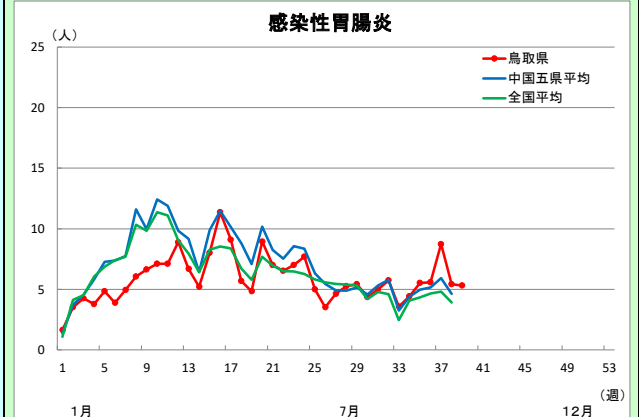
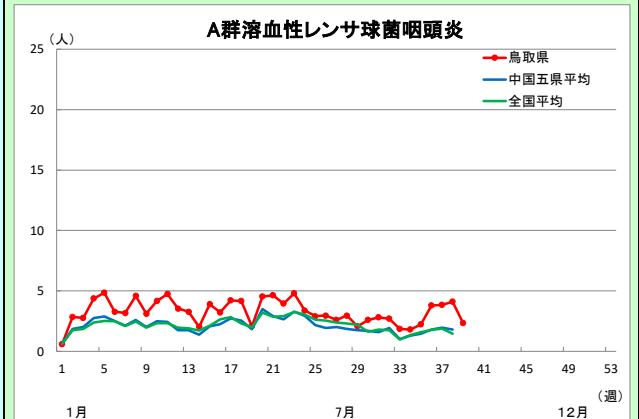
地区発生状況(定点当たり)



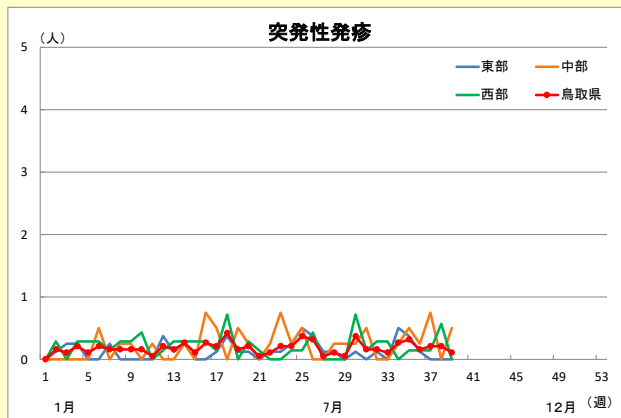
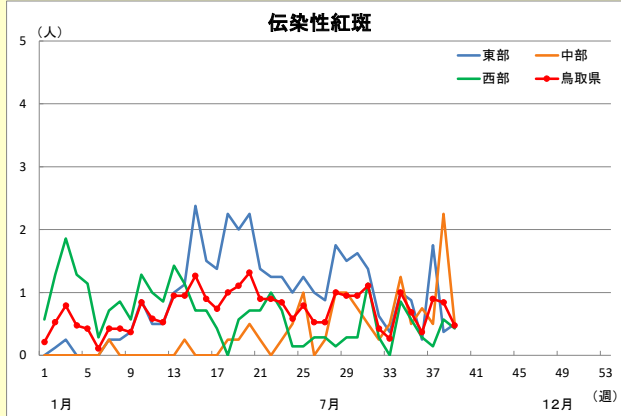
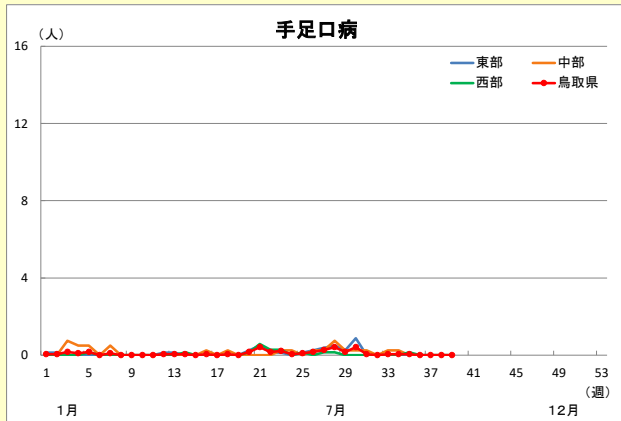
年次別発生状況(定点当たり)



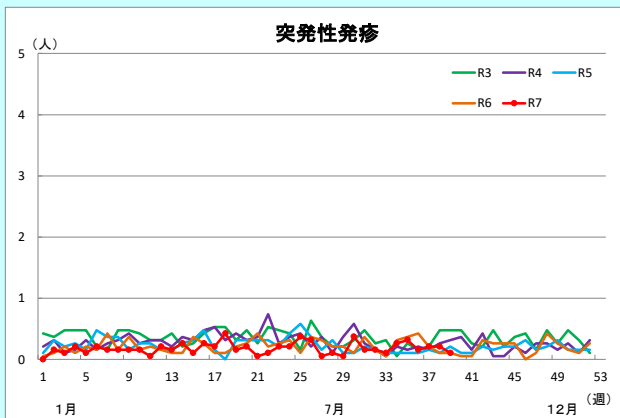
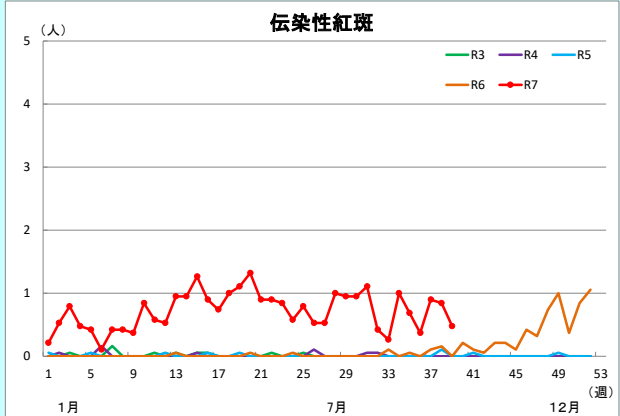
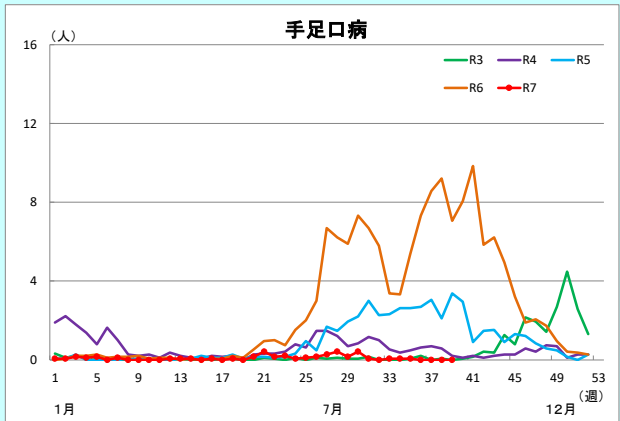
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



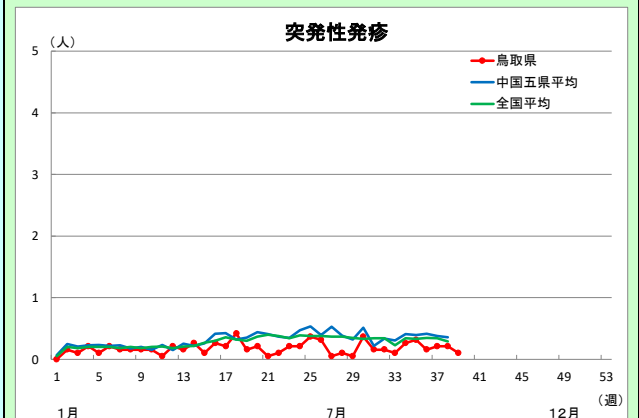
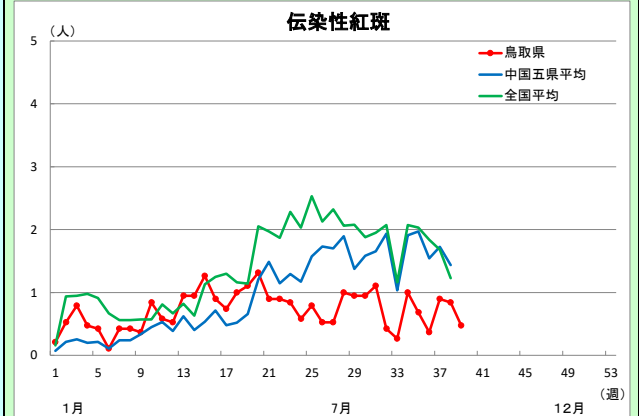
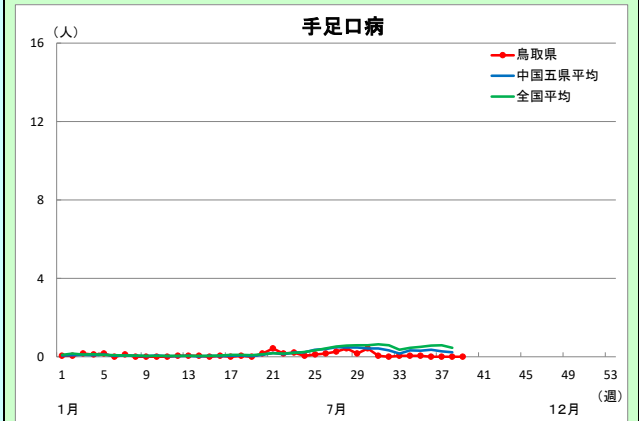
地区発生状況(定点当たり)



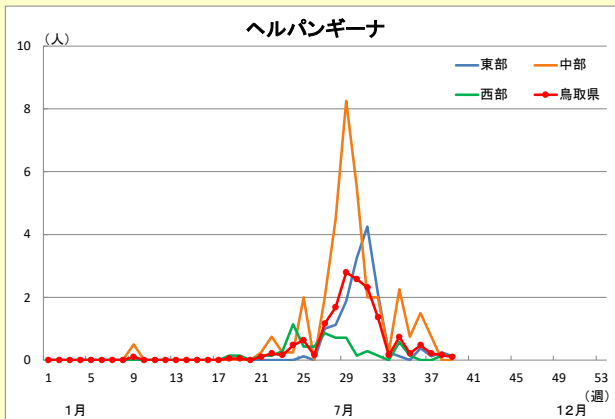
年次別発生状況(定点当たり)



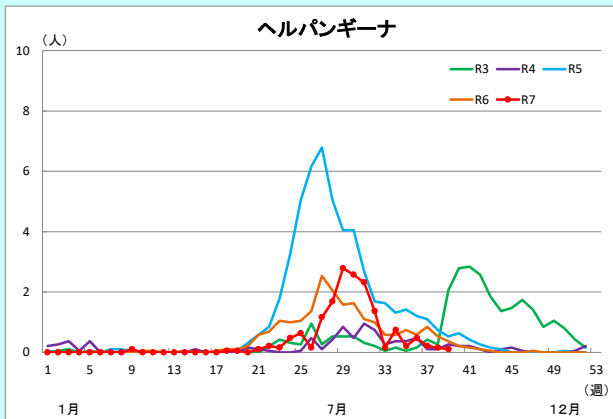
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



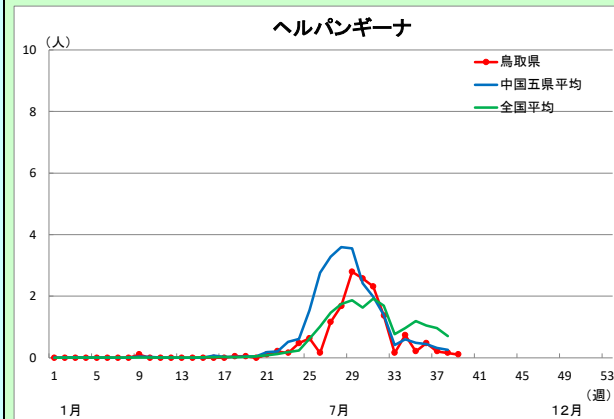
地区発生状況(定点当たり)



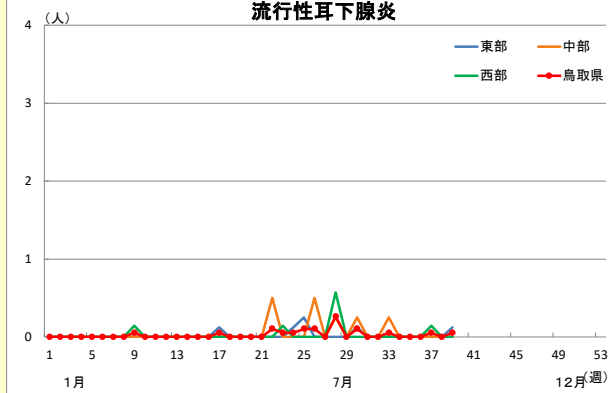
年次別発生状況(定点当たり)



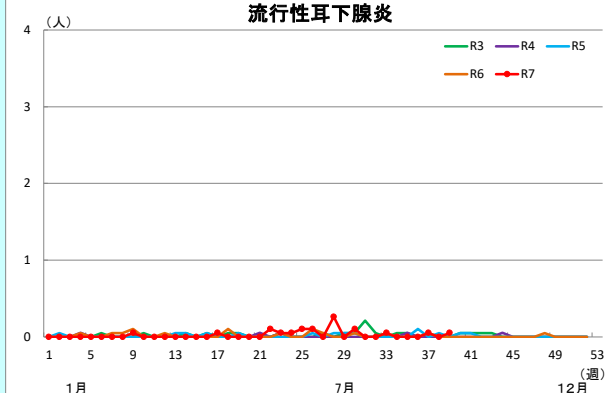
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



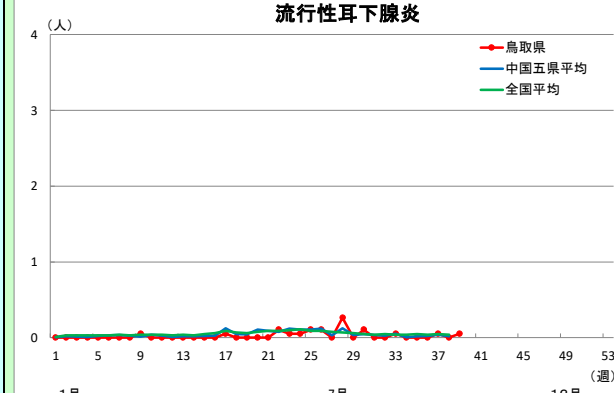
流行性耳下腺炎



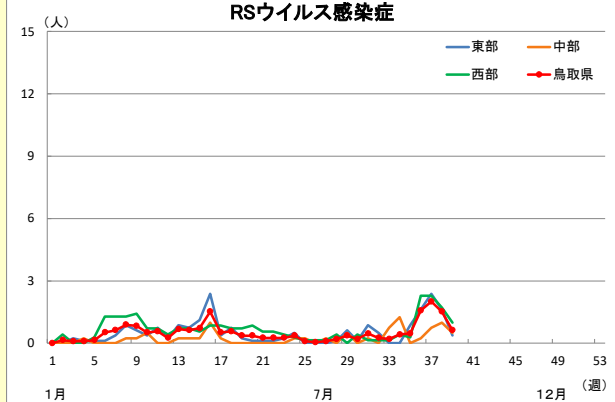
流行性耳下腺炎



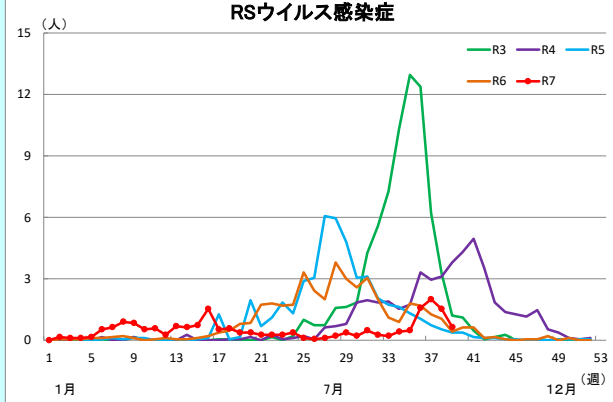
流行性耳下腺炎



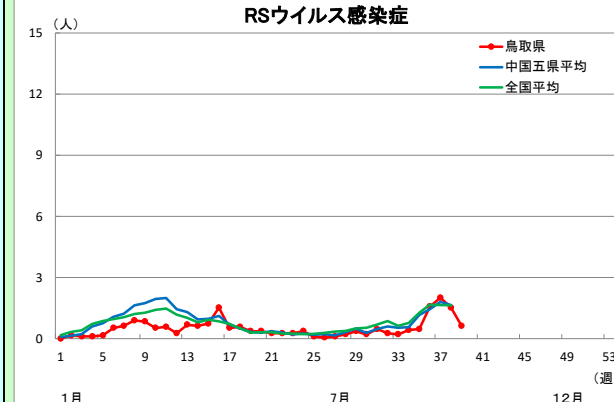
RSウイルス感染症



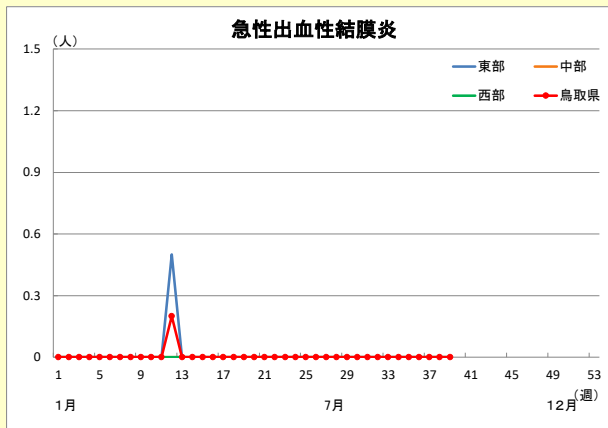
RSウイルス感染症



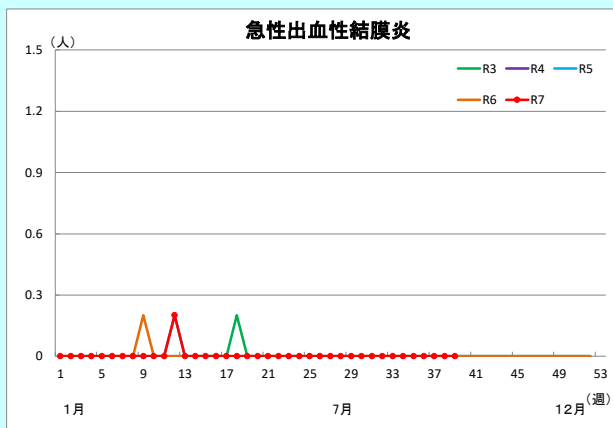
RSウイルス感染症



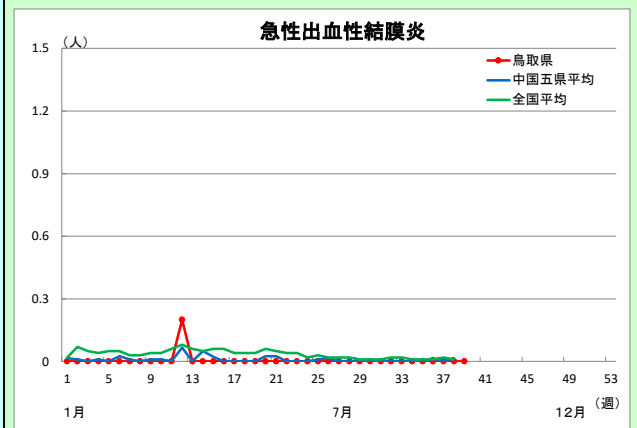
地区発生状況(定点当たり)



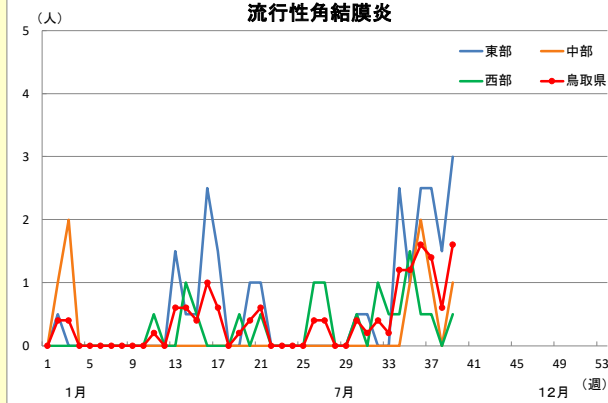
年次別発生状況(定点当たり)



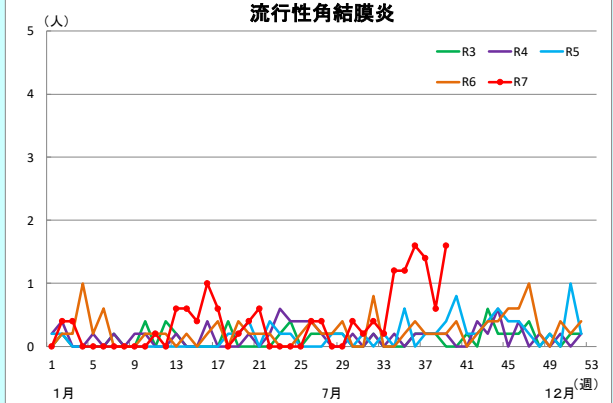
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



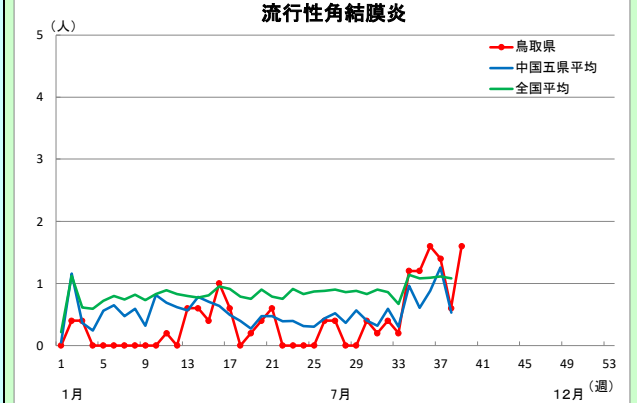
流行性角結膜炎



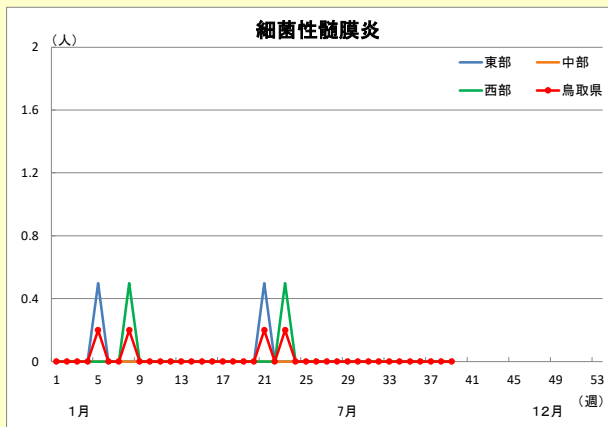
流行性角結膜炎



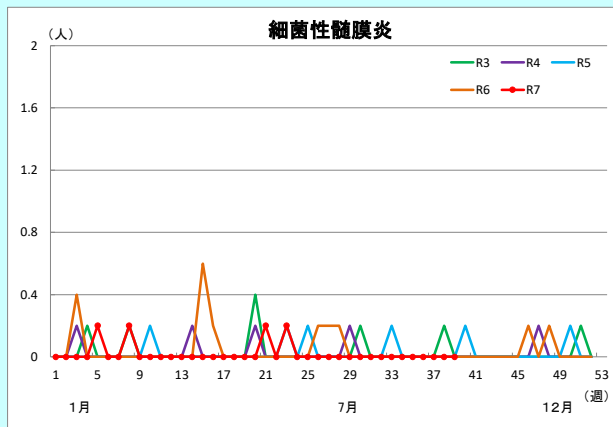
流行性角結膜炎



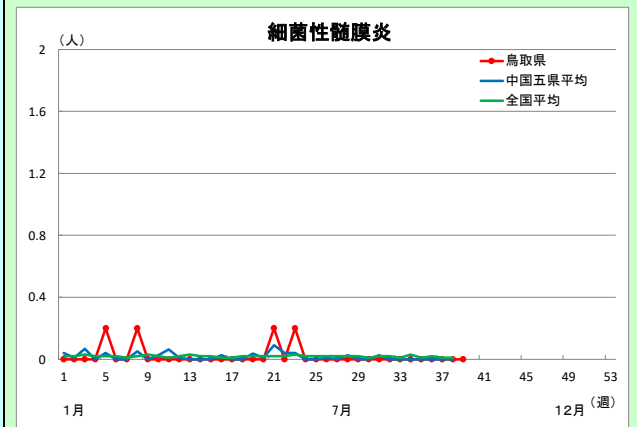
細菌性髄膜炎



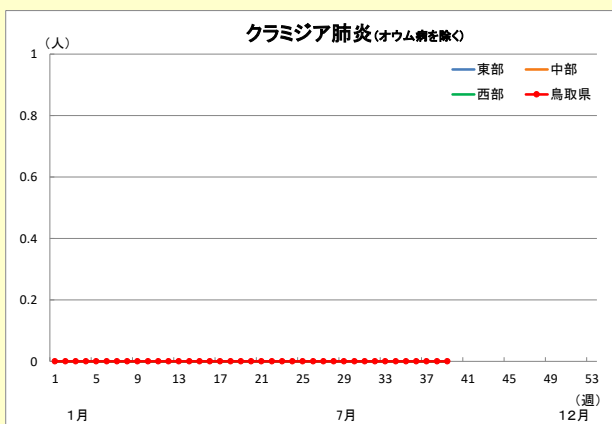
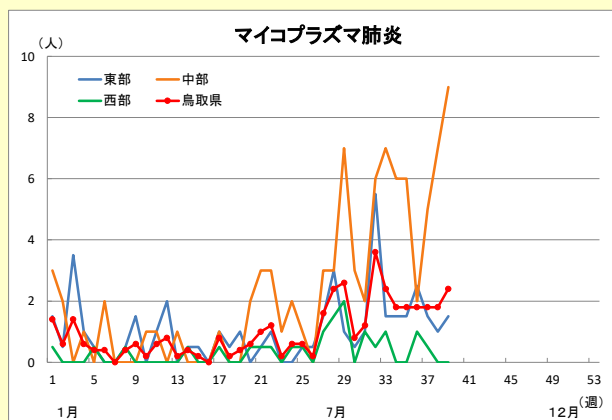
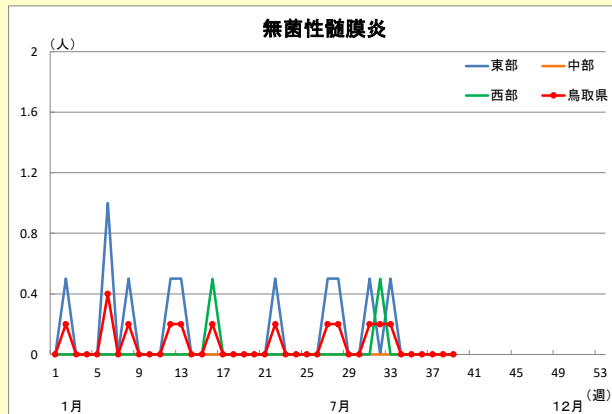
細菌性髄膜炎



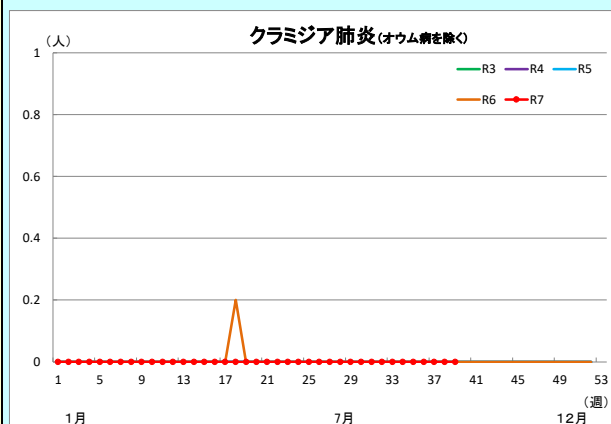
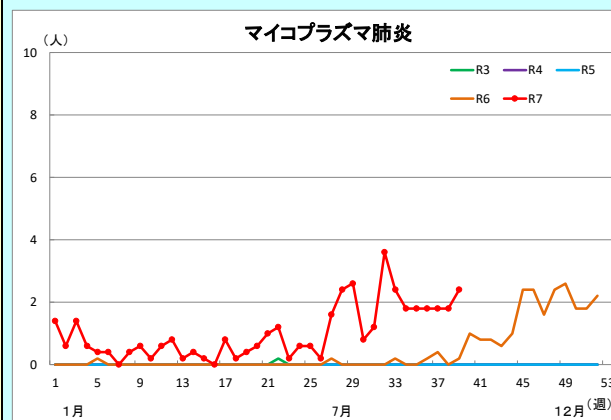
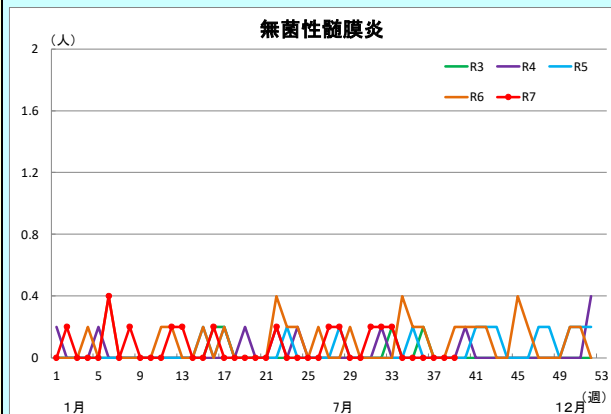
細菌性髄膜炎



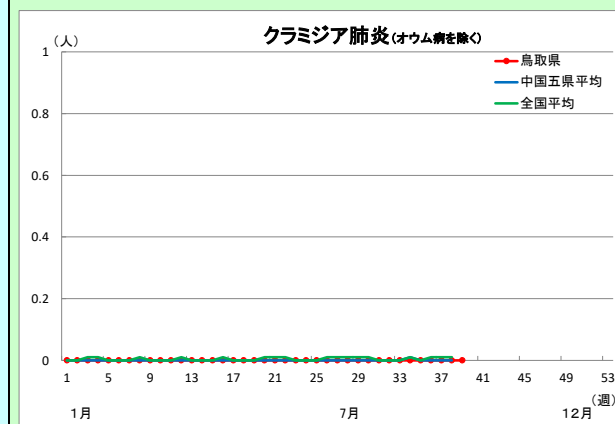
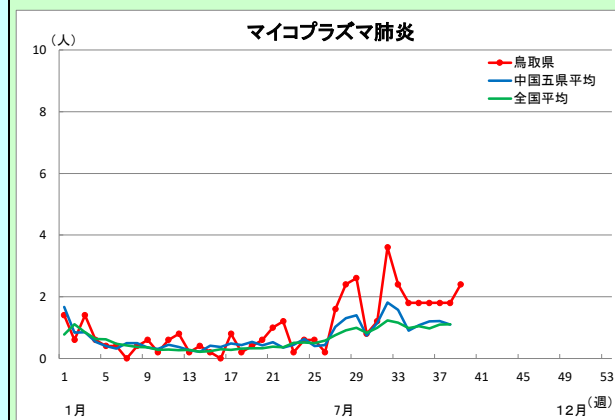
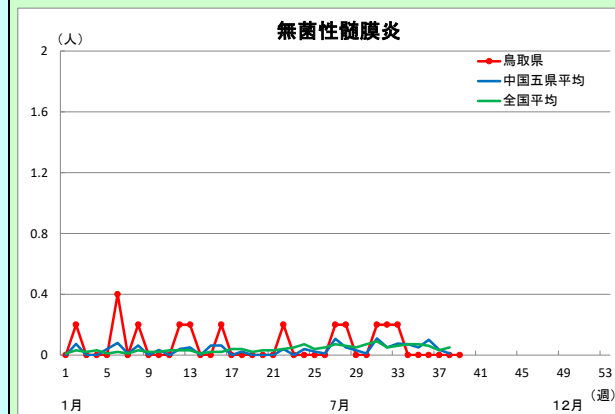
地区発生状況(定点当たり)



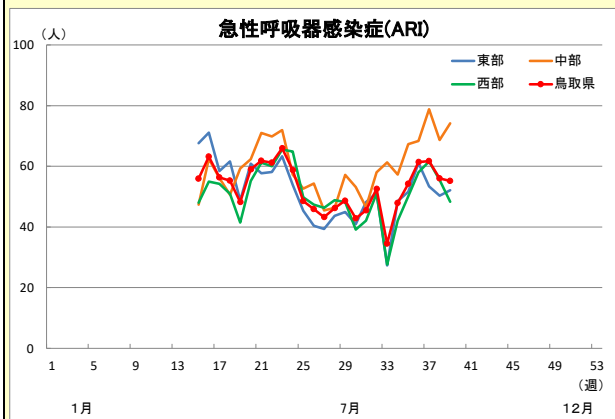
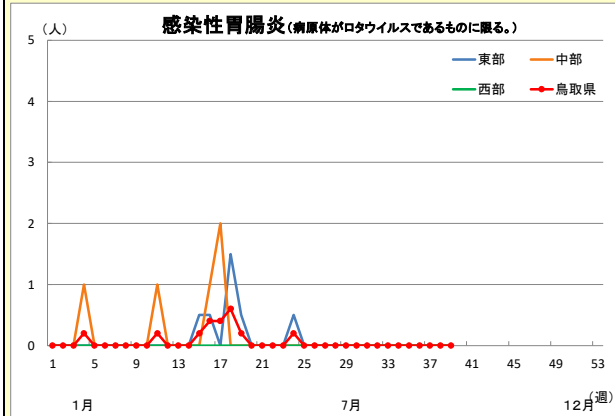
年次別発生状況(定点当たり)



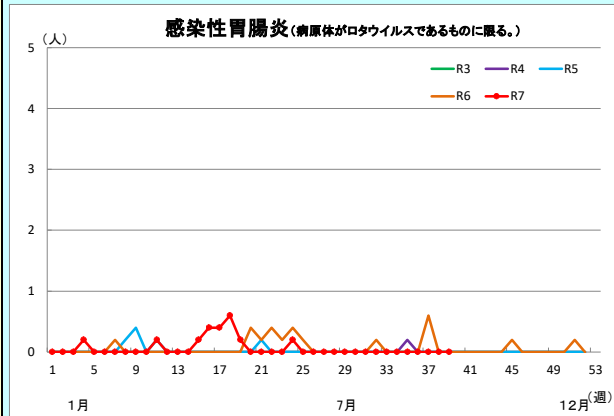
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



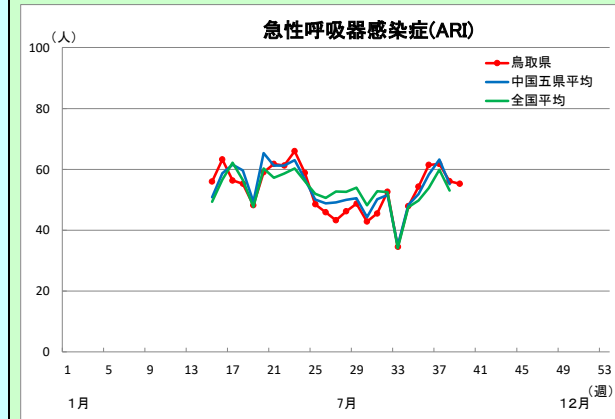
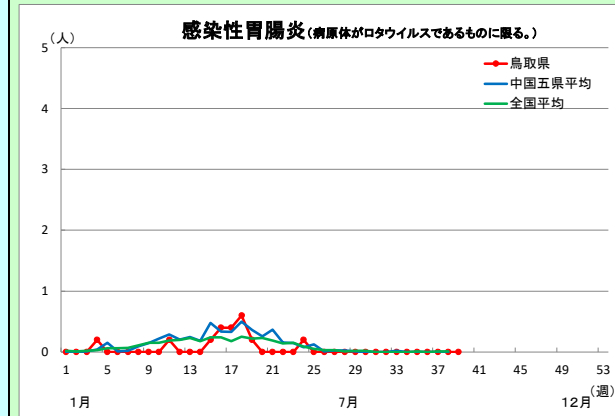
地区発生状況(定点当たり)



年次別発生状況(定点当たり)



中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



注)新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1～5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。